



若女将への事業継承とともに インバウンド対応で販路を開拓

課題

両親が創業したロッジの 継承に不安を感じている

秋田駒ヶ岳を背に田沢湖を眼下に望む水沢温泉郷にある全7室の宿、ロッヂヨーデル。たざわ湖スキー場まで徒歩5分行けることから冬季はスキーやスノーボード客で、初夏から秋口は秋田駒ヶ岳の登山客で賑わい、シーズンを通じて豊かな自然を楽しむ客が訪れる。家族経営ならではのアットホームな雰囲気が好評で長い付き合いの常連客も多い。

現・女性経営者の両親が二人で宿を営んでいたが、父親が2011年に逝去したため、母親が経営を引き継いだ。二人の娘である後継者（現・経営者）への事業継承が検討され始めたのは、2017年のことだった。

母親は娘に早期に引き継ぎをしたい意向だったが、東日本大震災以降、田沢湖を含む秋田県内の宿泊者数は横ばいかわずかに減少傾向にあった。加えて水沢温泉郷にはホテルや民宿などを含めた温泉施設が19施設あるばかりか、近くの田沢湖高原温泉郷には13施設、乳頭温泉には8施設あり、地域間の競争は厳しさを増すばかりの状況だ。

さらに税務問題も抱えていたことから、後継者は経営状態に不安を覚えており、早期の事業継承には消極的だったことから、第三者を交えた話し合いが必要だと判断し、仙北市商工会による事業継承支援が始まった。

支援

インバウンドを取り込み 競合との差別化を図る

かつて東京で働いていた後継者は、母から事業を引き継ぐ覚悟で帰郷したものの「施設の老朽化も進んでいるなかで事業を引き渡され隠居されても不安しかない」「現在のお客様は両親に付いていた昔からのお客様が中心で、今後、顧客の高齢化が進めば安定した売上げを得られる見込みが少ない」と経営面について大きな不安を抱いていた。

一方で、得意の語学を活かしてインバウンドを呼び込めば経営上の不安が解消できるのではないかと考えた。2016年から外国人向けの予約サイト（booking.com）にページを開設したところ、外国人宿泊客は5名から102名と大幅に増加した。後継者は日常会話はもちろんのこと英語、フランス語で観光プランのアドバイスができる語学力があるため、外国人客からレビューで非常に高い評価を得て、新たな予約に



3カ国対応でリニューアルしたロッヂヨーデルのホームページ

つながっていたことから、2018年には、小規模事業者持続化補助金を活用して日本語、英語、フランス語の3カ国語対応のホームページを開設。そこからも直接予約を受けられるようにした。

さらに、記帳業務指導や税理士派遣業務を受けて帳簿付けや税金の知識を蓄え、経営の不安を解消した。

外国語対応を強みとして近隣施設との差別化を図り、自信を強め、後継者は計画を1年前倒しにして2019年1月に事業を継承した。新たなインバウンド獲得に積極的に動き出している。

支援の経過

期間	支援内容
2017年10月～ 2019年2月	事業承継支援
2018年5月～ 12月	持続化補助金の申請・実行支援

会社概要

会社名：ロッヂヨーデル
住所：秋田県仙北市田沢湖生保内字下高野73-7
電話番号：0187-46-2807
URL：<https://www.yodel-tazawako.com/>
代表者名：高橋さやか
創業年：1987年
従業員数：0名
商工会名・担当者名：仙北市商工会・加納愛